

## あ い さ つ

秋情緒が熟した秋、豊穰の季節です。

この良い時期に学術討論会のために貴会を訪問することは、非常に意義深いことだと思います。

尊敬する浅田 恒博会長をはじめとする近畿税理士会役員の皆様と会員の皆様、私はさる設立50周年記念行事に参加し、多くの経緯を持っている貴会が、税理士制度発展に寄与していることを経験することができました。

また、今回は日本税理士会連合会が主管するAOTCA総会が貴会地域において開催されることになり、学術討論会がより一層意義深い行事になることであらう。

その間、10回にわたる学術討論会を通じて、両国の租税制度等に関し、理解の幅を広げることができ、誠実に親善友好関係を着実に構築してきました。

この度の主題は、両国の税務調査の現況に対し討論することになっています。

両国の税務調査現況や制度の特徴等を比較討論することで、税理士が租税行政の役割等に対する適切なテーマだと考えており、有益な討論会になると確信しています。

特に我々両国は、類似の税務士制度と法律等を持っており、お互いが同じ方向に向かって努力し研究すれば、理解の幅が広くなり、十分な可能性があるため、この学術討論会は永続的な発展が期待されます。

本日、討論会準備のために苦勞された近畿税理士会役員および会員皆様に深く感謝申し上げます。

貴会の絶え間ない発展と会員皆様のご健勝をご祈願申し上げます。

ありがとうございました。

2015.10.13

釜山地方税務士会  
会長 崔 相 坤

## あいさつ

アンニョン ハシムニカ。(こんにちは)

近畿税理士会会長の浅田恒博でございます。

まず、昨年10月2日に開催した近畿税理士会設立50周年記念式典及び記念祝宴に際し

チェ サンゴン

ましては、崔 相坤 会長 様 をはじめ、多くの役員の皆様にご来臨を賜り、錦上花を添えていただきましたことに、改めて厚く御礼を申し上げます。本日は、皆様方と、ここ大阪で再会できましたことを大変うれしく思います。

さて、貴会と当会は1991年に友好親善合意書を調印し、その後、より実質的な交流を深めるため、2005年11月からは、毎年、学術討論会を開催し、充実した親善関係を築いて参りました。

当学術討論会では、毎回、重要なテーマを研究していますが、その評価は近畿税理士会の内外で年々高まるなど、大きな成果を上げています。

今回は、テーマとして、韓国・日本両国における税務調査の現状を取り上げさせていただきました。両国の税務調査の現状や制度の特徴などについて比較検討し、十分な理解を深めることができるものと確信いたします。

本日の学術討論会が両会の相互理解と友好をさらに深める有意義なものとなりますことを、心から念願しております。

チェ

結びにあたり、貴会のますますのご発展と、崔 会長様 並びに 役員皆様のご健康とご隆盛を心からお祈り申し上げて、ご挨拶といたします。

カムサハムニダ。(感謝いたします。)

2015年10月13日

近 畿 税 理 士 会  
会 長 浅 田 恒 博